

指定管理者からの令和3年度事業報告概要

施設名	岡山県立青少年農林文化センター三徳園
------------	--------------------

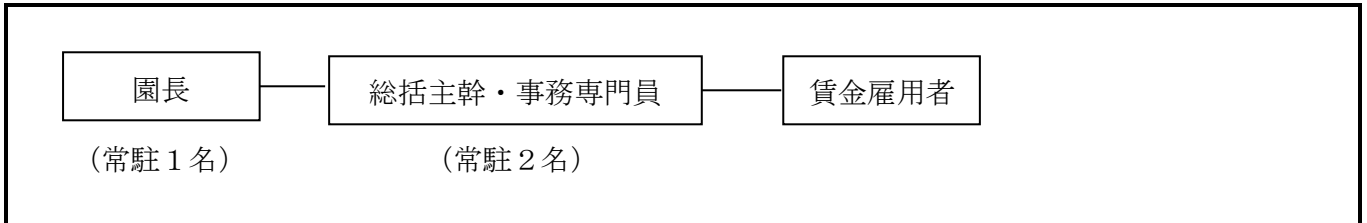
【指定管理者の概要】

名称	公益財団法人岡山県農林漁業担い手育成財団	代表者	理事長 京 博司
所在地	岡山市中区古京町一丁目7番36号		

【指定管理の概要】

指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日	報告期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・三徳園の施設及び設備の維持管理に関すること。 ・三徳園の施設の利用等の許可に関すること。 ・三徳園の運営に関すること。 		

【管理体制の状況】



【利用等の許可の状況】

(単位：件)

		研修施設			合 計
許可 件 数	3年度	170			170
	2年度	156			156
	増 減	14			14

【維持管理の業務の実施の状況】

項 目	内 容
施設、設備の維持管理業務の実施状況	研修交流館・矢野講堂及び矢野館の維持管理、施設・設備・農業機械重機の修繕・保守点検、栽培展示園等の管理、園内修景管理、清掃・ごみ処理 等
施設、設備の利用状況	来園者数：142,860人、研修施設利用者数：2,949人 ・ホリデイ就農ゼミ（6回 のべ145人） ・農福連携指導者研修（9回 のべ67人） ・おためし農福（4回 のべ79人）等
自主企画事業の実施状況	計21回実施 ・園児向け出前教室（180人） ・職場体験学習受入（中学生5人） ・サポーター園内清掃活動（15回） ・展示即売会 等

【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、件)

		研修施設			合 計
収入額		514,750			514,750
利用件数		170			170
減免額		1,189,920			1,189,920
減免理由	<ul style="list-style-type: none"> ・県事業、県補助事業及び委託事業での利用のため。 ・三徳園友の会の三徳園の自主企画（即売会等）への協力及び奉仕活動（草刈等）利用のため。 				

指定管理者からの令和3年度事業報告概要

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		3年度	対前年度増減額	2年度	備考
収入額 A		31,150,828	411,749	30,739,079	3年度収入額 その他の主なもの 農福連携研修事 業受託料 1,681,000円
内 訳	指定管理料	26,176,000	0	26,176,000	
	利用料金収入	514,750	118,120	396,630	
	事業収入	2,426,324	252,690	2,173,634	
	その他	2,033,754	40,939	1,992,815	
支出額 B		31,358,452	△1,557,445	32,915,897	
内 訳	人件費	20,909,178	△1,201,820	22,110,998	
	管理運営費	10,449,274	△355,625	10,804,899	
	事業費	0	0	0	
	その他	0	0	0	
収支額 A-B		△207,624	1,969,194	△2,176,818	
県への納入金		-	-	-	
実質的な県負担額		26,176,000	0	26,176,000	

【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目		区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理 運営 状況	①適切な施設 管理の履行	B	事業計画に沿った適切な管理が行われていた。
	②法令等の遵守 状況	B	関係法令等に基づく義務は適切に履行されていた。
	③安全性の確保	B	危機管理マニュアルを徹底し安全性の確保に努めていた。開園前の巡回点検をはじめ、事前に危険性のある箇所を立入禁止にするなど、来園者の安全確保を最優先にした管理が適切に行われていた。 更に、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、三密防止の啓発やアルコール消毒液の設置等が実施されていた。
	④財産の適切な 管理	B	建物・施設等の適切な保守管理がなされていた。
導入 効果	①利用状況	B	新型コロナウイルス感染症対策による休園措置により、前年度より入園者は減少した。 施設の利用は県の研修が中心であるが、安全に活用できるよう配慮されていた。 [総入園者数] R3:142,860人←R2:148,430人
	②収支状況	B	光熱水費等の増加はあったものの、施設利用や生産物販売の収入増加に努め、経費面でも職員を1名削減する等、収支改善に努めた結果、昨年度と比較して赤字が大幅に圧縮された。
	③サービス向上	B	施設の管理状況について来園者の満足度は高く、展示即売会をはじめ自主企画事業を実施するなどサービス向上に努めていた。
管理運営業務全般		B	協定書や計画書に基づく適切な管理がなされるとともに、展示即売会や農福連携事業など、自主的な取組がなされていた。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。

B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。